

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	異文化コミュニケーションⅡ		（ TGB130 ）
講義名（コード）	TGB_異文化コミュニケーションⅡ_A		（ TGB130A ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	渋谷 里美	時間数	30
成績評価教員	渋谷 里美	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	就職活動に必要なSPI対策・面接対策・エントリーシート作成ができるようになる。特に過去の自分・現在の自分・未来の自分を分析することで、より良い就職活動を行い社会人生活につなげる。
全体の内容と概要	SPI対策と面接で聞かれることを記述しながら、面接の練習準備とエントリーシート作成の練習を行っていく。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	配布したプリントはファイルしておくこと。自身の考えを他者に伝え、聞くために積極的に授業に参加する姿勢が必要である。期末試験として模擬面接形式の試験を実施する予定。出席が2/3以上の場合のみ成績評価を行う。満たない場合は単位不合格になる。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	2/3以上の出席		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	組み合わせを理解する 履歴書・ES①	⑫組み合わせ 調べ学習：①履歴書のポイント ②エントリーシート(ES)のポイント、シャドーイング
2	確率を理解する 履歴書・ES②	⑬確率 記述練習：①送付状の作成 ②封筒の書き方、シャドーイング
3	物の流れと比率を理解する 履歴書・ES③	⑭モノの流れと比率 記述練習：履歴書・送付状を作成する、シャドーイング
4	条件と領域を理解する メールマナー	⑮条件と領域 記述練習：就活上のメールのマナーを理解し、書く、シャドーイング
5	グラフの領域を理解する 面接①	⑯グラフの領域 調べ学習：服装とマナー 面接の流れ・面接でよく出る質問、シャドーイング
6	面接②	模擬面接（マナーよく面接に臨み、基本的な質問に答えられる）
7	長文の読み取りが素早くできるようになる 面接③	⑰長文の読み取り 模擬面接の振り返り、シャドーイング
8	資料の読み取りが素早くできるようになる 面接④	⑱資料の読み取り 記述練習：お礼メールの作成、シャドーイング
9	割合について理解する 異文化理解①	⑲割合 調べ学習：文化の違いを理解する、シャドーイング
10	二語関係について理解する 異文化理解②	①二語関係 調べ学習：共生するために（誤解や衝突、価値観、時間の感覚）、シャドーイング
11	熟語の問題に対応できるようになる 異文化理解③	②熟語 日本に関心をもってテーマについて意見交換する①、シャドーイング
12	語の用法について理解する 異文化理解④	③語の用法 日本に関心をもってテーマについて意見交換する①、シャドーイング
13	長文読解の力を伸ばす 一年間の学修を振り返ることができる	④長文読解 日本に関心をもってテーマについて意見交換する（グループワーク）③、シャドーイング
14		期末試験
15		期末試験解説・総括

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	SPI基礎からはじめる問題集
参考文献・資料等	学生手帳
備考	就職活動に必要な読解力や書く力を身につけるために、漢字や語彙の復習をいれることがあります。 進度は変更になる可能性があります。